

すき♡スキ♡大好き

No.66



11ぴきのねこ

人形劇団クラルテ

2024年12月7日(土)

低学年例会

長崎ブリックホール国際会議場 15:30~

ジンマサフスキーの サイレント・コメディ・マジック

JIN OFFICE

2024年12月20日(金)

高学年例会

メルカつきまちホール 19:00~



ながさき子ども劇場 広報部

〒850-0057 長崎市大黒町4-26 北村第一ビル303号

Tel: 095-825-0533 Fax: 095-825-6151

E-mail: sukisuki@bird.ocn.ne.jp

<http://www.na-kogeki.sakuraweb.com/>

発行 2024年12月7日

〈目次〉

1. 巻頭エッセイ・目次
2. 低学年例会「11ぴきのねこ」
3. 高学年例会「サイレント・コメディ・マジック」
4. ざんさん&りっちゃんワークショップ
5. ハロウィン
6. 秋のデイキャンプ
7. 高学年ナイトハイク
8. 乳幼児部クッキー
9. 絵本のページ
10. 定期総会 編集後記



いざ行こう、娘との時間旅行へ

東長崎ブロック 前原 もどき 幹

「わ～らいま～しよ、アツハツハ♪」と娘に歌いかけると、ニコニコと笑顔を返してくれる。そんな親子のやり取りを見て、私の母が「あなたも、その歌が好きだったもんね。」と声をかけてきた。正直、こんな歌知らない。娘が喜ぶかなあ、とスマホから流していた「こどものうた」の中の一曲で、たまたま覚えただけだったから…。

私の娘はタイムマシンの運転手。私たちを乗せて、時間旅行へ連れて行ってくれる。「あなたたちも、その昔、泣いてばかりで、周りを困らせていたんだからね～。」「あなたたちも、好き嫌いしたり、ワガママ言ったりして、怒られていたんだからね～。」とでも言うかのように。

この時間旅行は、娘との出会いの瞬間から始まっていた。
「あなたたちが、オギャーと産まれてきたときも、あなたたちの親は、泣きながら喜んだんだよ～。」
「あなたたちが、自分の足で歩くようになった時も、嬉しさ半分、心配半分で、周りはず～っと目を離さずに見守っていたんだよ。」

そうだったのか、そうだったのか…。

それでは、私も運転しよう！
「あなたのパパも、この絵本が好きだったんだよ。」「あなたのパパも、この遊びが好きだったんだよ。」と語りかけながら。

そうだ！私が大好きだった、子ども劇場に、この子を連れて行こう。

舞台鑑賞

★12月例会★

12月低学年例会

人形劇

11ぴきのねこ



2024年12月7日(土) 15:30開演(30分前開場) 長崎ブリックホール国際会議場

おなじみ『11ぴきのねこ』の人形劇が、今度は新たな舞台で
元気いっぱいの大冒険を繰り広げます!!

お
は
な

し



「あ～腹へったなあ～」
いつもお腹を空かせている11ぴきのねこたち。
カモメが落とした小さな魚をじゃんけんして分け合いますが、「足りな～い」「大きな魚がたべた～い」
そこで筏(いかだ)を作って大きな魚を探すため湖へ!
おおきなさかなをつかまえようとするもののはねたりぶ
つかつてきたり。
ねこたちはなんとか逃げのびた島で
「♪ねねこさっしやりまーせ」と大きな魚が歌うのを
聞くのです。
さて、大きな魚は・・・
ねこたちは・・・



おおきな
さかなが
たべた～い!

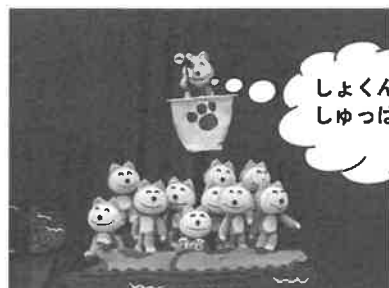
演出のことば

【始まりの物語を新たな挑戦で】

数々の『11ぴきのねこ』のシリーズをホール公演作品として上演してきたクラルテが、ついに始まりの物語『11ぴきのねこ』を人形劇化。そしてより多様な空間で上演するため、4人で演じる新たな挑戦?! いえいえ人形劇なら可能なのです! 『11ぴきのねこ』の、失敗を肯定するたくましさや優しさに溢れる眼差しを通して“元気の出る”人形劇をお届けします。



そこで、いかだを
作ってみずうみへ!



しよくん!
しゅっぱつ

次回例会
〈低学年・高学年合同例会〉
『オレにロックを
歌わせろ!』



2025・2・11(火・祝)
15時開演
長崎ブリックホール
国際会議場

上演時間・45分

舞台鑑賞

★12月例会★

12月高学年例会

ジンマサフスキーの

サイレント・コメディ・マジック

芸能

JNI OFFICE

2024年12月20日(金) 19時00分開演(30分前開場) メルカつきまちホール

喋らないのに面白い! 喋らないからこそ面白い!!

全編サイレントでお届けする摩訶不思議なマジックショー!!

作・演出 ジンマサフスキー (神 雅喜)



パントマイム

- ♥パントマイムでごあいさつ
- ♥カードとボールあっちから、こっちから!
- ♥はと?ハト!?鳩のマジック!!
- ♥マジックにはハプニングがつきもの!?
- ♥マジシャンになろう!
- ♥分裂するうさぎ?消えるうさぎ!?
- ♥勝手にアンコール!!



見どころ

全編サイレントで展開されるマジックパフォーマンス! マジシャンの失敗、マジシャンの動揺? マジシャンの困惑??等々、コミカルに演じていきます。それはまるで、チャップリンやキートンの無声映画を観ているようです。

お客様参加コーナーもありますが、もちろん、こちらもサイレントで!

パントマイムをベースに※スライハンドマジックからイリュージョンまで取り入れた見どころ満載! 想像力で観るコメディ・マジックです。

※スライハンドマジックの略
ステージマジックにおいて手先の技術のみで見せる
ハンドマジックのこと

上演時間・70分

次回例会

〈低学年・高学年合同例会〉

『オレにロックを
歌わせろ!』

2025・2・11(火・祝)

15:00開演

長崎ブリックホール
国際会議場



プロフィール

演劇を志すもセリフよりも肉体表現に興味を持ち、パントマイムの世界へ。

'88年にはイタリア・アレツォ国際演劇祭にて総合グランプリを受賞。

その後、エンターテインメントとしての新たな展開を求めマジックの世界へ進出。'00年には、マジックの世界大会であるフィズム・ポルトガル大会に日本代表として招待参加。現在ではその確かな技術と“ストイックなまでのこだわりから生まれた独自のキャラクター”を武器に、マジックとパントマイムを組み合わせたオリジナルパフォーマンスを展開。全国津々浦々、様々な場所に出没している。



低学年例会「ざんさん&りっちゃんといっしょにあそぼ！」

2024年9月21日 低学年例会

3歳以上を対象に、表現ワークショップ「ざんさん&りっちゃんといっしょにあそぼ！」を開催しました。

「例会」とするのは、会としてもこれまでにない試みでしたが、

お話ししながら顔も身体もいっぱい動く
りっちゃん
時には「ルーレット」になる
ミラクルざんさん

二人の面白いやりとりや、ママさんパパさんをも巻き込んだクイズで始まりとても盛り上がりました。

その後、幼児おやこチーム、小学1~2年チーム、小学3~5年チーム、そして大人チームと、4つに分かれて、あそび表現ワークショップを楽しみました！

一緒にあそんでいくうちに、チームで並べ替え遊びをしたり、石になってみたり、ねんどになったり、一枚の写真になったり、3つのシーンから「これはなんでしょう」とお題のテーマをあてあったり子どもたち、そして大人たちもたくさんのアイデアや発想を出し合い、こうしたら面白いんじゃない?!と短い時間でアタマとカラダをフル回転!

並べ替え遊びでは子どもたちの身体の柔らかさに驚かされたり、写真になるときは子どもたちの発想に感心したり、いつもは受け取るばかりの大人たちでしたが、今回は子どもたちに負けられまいと童心にかえり、本気で楽しむことができた貴重な会となりました。



🎃 ハロウィン 🎃

2024年10月26日(土)

諏訪神社の中にある長崎公園にて、
今年もながさき子ども劇場ハロウィンを開催しました！
参加者は未就学児10名、小学生32名、中学生1名の43名でした。

暗くなる前に集合してまずは写真をパチリ。
今年もそれぞれいろんな仮装をした子たちが大集合しました。



今年は夜を駆け回ろう！ということで、ランタンなしで
スタンプラリーをしました。
11匹のねこのお面をつけたスタッフが
ジャンケン、なわとび、タッチ、シールを貼るコーナーで
子どもたちがくるのを待っていました。
スタンプをもらったらお菓子もゲットでみんな嬉しそうでした。



新大工ブロックの中学生3人がスタッフとして大活躍してくれました！
スタンプラリーの後のケイドロでは3人が鬼になり
子どもたちを追いかけます！
暗闇で走り回って追いかける方も逃げる方もとても楽しそうでした。

ケイドロでみんな逃げまくりー！
1回戦目は中学生と青年、2回戦目は小学5年生が鬼になって
終わった後はもう一回やろう！もう一回！と盛り上がりました。



ケイドロの後にお土産の光るブレスレットを
みんなもらって帰りました。
並んで待ってるのかわいいですね。
また来年も会おうねー！と言ってくれた子もいて
楽しい夜となりました。



秋のデイキャンプ in 市民の森

11月17日(日) 参加者 会員 大人…22名 子ども…17名 3歳未満…5名
 一般 大人…11名 子ども…9名 3歳未満…3名 合計…67名

お天気にハラハラしながらのデイキャンプ。当日は、曇り。少しずつお天気も持ち直し、みんなで楽しい時間を過ごすことが出来ました。

まずは豚汁づくり。小さい子ども達が野菜を切っている横で、ハラハラしながらも見守っているお母さん。釜戸もお父さん、お母さん、子ども達が参加してイイ感じに火がつき準備もスムーズでした。

豚汁を火にかけた後は、お待ちかねの竹焼きパン！じっくりと時間をかけて焼く子、直火につけて焦げてしまう子、それぞれの性格が出て面白い。常連メンバーはさすがに上手い。慣れた手つきでじっくり丁寧に焼いたパンは最高に美味しい。何回もお代わりする子もいて人気ぶりに圧倒されました。

あそび企画では、総会の時に子ども達から「ねこの耳を作っておにごっこをやりたい！」と言う要望にスタッフが全力で取り組みました。(自画自賛) 笑

自分で描いた魚、色塗りした魚を持って逃げる子をねこ耳付けたかわいいねこ達が追いかける!!

みんな楽しそうで、時間いっぱい遊びきった一日でした。

次回は春～。またまた楽しい企画をお楽しみに！



ナイトハイク

今年もただただ夜に歩いて参りました、ナイトハイク 2024！

まさかの2年連続で新ルートでございました。実はその昔、下見までしたのに歩くことができなかった『幻のルート』、それを参考に（？）しつつ組み立てましたのが今回の新ルート、『伊王島ルート』でござえやす！

おなじみの松山陸上競技場を出発し、稲佐橋の方へ。ラブフェスの花火をチラ見しつつ立神に向かい、三菱重工を左手に見ながら木鉢町に下り、女神大橋からの夜景に写真撮影会開催。そのまま小ヶ倉、深堀と進んでいき、明るくなってきた空を右手に伊王島大橋を渡りきり、橋の下にてゴール！ 歩いた距離は約27km！ 二本の大きな橋を渡るというなんとも豪華なルートでございました。

参加者は小学4年生から青年までの19人。内訳は小学生6人、中学生3人、高校生4人、そして青年6人！ 今年春に福岡に転校した子が諸々のスケジュールが噛み合った結果「参加します!!!」とウキウキで申し込んでくれたり、佐世保の高校生が意気揚々と参戦してくれたり賑やかなメンバーでの道行きでした。もちろん道中はおのおのゆっくりしっぽり話し込んで……あの、毎年のことながら「しりとり」盛り上がりすぎじゃないですか??? まあ何にせよ、最後の最後まで笑い声があちこちから聞こえていました。

ほぼ全員が完歩した今回のルート、昨年に続き甘々のコースになってしまったかと心配しましたが、ブルーシートの上の倒れ込んだまま動かなくなる子、だんだん明るさが増していく空をぼんやりと眺める子、眠気で発言が覚束なくなる子、劇場ダンスを踊る青年数名と、ナイトハイク恒例の光景が見られたのでヨシ！ 最後に美味しいおにぎりや豚汁に舌鼓を打ちつつ、きれいな朝焼けを眺めて、無事に全工程終了となりました。

毎年のことながら、炊き出しに夜食時のお湯の運搬、さらには伴走車の運転も快く受けてくださるなど、大人の皆様のご協力に感謝しかありません。

ただただ夜に歩くだけ、という本企画。しかし、その「夜に歩く」という『非日常』が楽しくて仕方ない本企画。キャンプとはまた違うこの『非日常』を、これからも子どもたちと一緒に楽しんでいますよ！

雨をギリギリで止ませることに成功した実行委員長の杏子でした。



いつもの豚汁～
冷えた体にしみる～

出発からの～ゴール



乳幼児部 クッキー

クッキーひろば

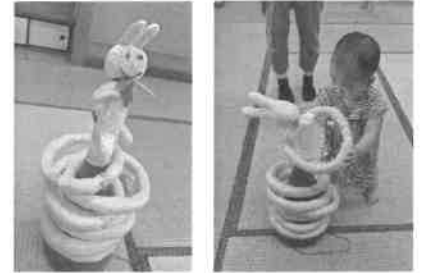
毎月1回 日曜日 10:30~14:00
諏訪小学校・学校地域交流センター
※日や会場は事前にご確認ください

*9/15(日)お月見ごっこ

この日は十三夜、わらべうたにもお月様の曲を歌いました♪
月の輪リレーではコーンの上に乗ったうさぎさんに輪っかをかけてくる
リレー。たくさんの月の輪っかに乗ったうさぎさんの出来上がり!!お月
見だんごも作りました。白だけではなくカラフルな花紙を丸めて三方に



のせてススキも飾っ
たら、お月見気分👏
お昼ご飯には本物
のおだんごも食べておいしかった!



見学の親子さんもい
てたくさん遊びました。
本物のまん丸お月様
には会えたかな😊

*10/20(日)11ぴきのねこあそび

12月例会にちなんで、「みんなでねこになってお魚つりにでかけよう!」
というお話であそびました。まずはねこ耳工作から。好きな色のねこ耳の
輪っかを選んでお耳はマジックでぬりぬり。
パパママもねこになって、みんなで大きなお舟
に乗ってお魚つりへ。プールいっぱいのお魚のフェルト
のお魚をつかまえたら、かごの中へ。捕まえた魚
を干し魚にして焼いて食べましたとき🌟



この日の親子ねこ耳写真
を使って、例会当日の飾り
つけも作りました。皆さん
見てね❤️

*11/10(日)クリスマス会練習

12月クリスマス会では恒例のクッキーの出し物、いつもひろばでやって
いるわらべうたに加え今年はダンスをやります👏 1回踊ってみるとハード
なテンポ♪



このままではパ
パママがやせ
てしまうと
ややゆるいテンポに変えてやってみることに。
練習動画を見ながらの自主練。
さてどうなりますか、とにかくかわいい
子どもたちに癒されてください(^^)♪





ひろせさんの 絵本のとびら

みなさんに出会ってほしい絵本、知ってほしい絵本の話を紹介させていただきます**

待ってました！！12月の低学年例会は人形劇団クラリテの『11ぴきのねこ』。
絵本『11ぴきのねこ』のシリーズなしには「とらねこ文庫」は生まれませんでした。

文庫を開設した1999年10月。文庫を始めると決めたものの名前をどうしようと悩んでいた私に当時小学2年生だった長男が「とらねこ文庫がいい」と一言。長男はこのシリーズが大好きで、中でも「とらねこたいしょう」がお気に入りだったのです。

今でも「とらねこ文庫のおひざで絵本」（毎月最終月曜日に開催）はとらねこたいしょうのパペット人形のご挨拶で始まります。ちょっと調子が良くて好き勝手に生きている（ように見える）11ぴきのねこたち。シリーズは全6巻。『11ぴきのねこ』が出版されたのは1967年。6冊目の『11ぴきのねこどろんこ』は約30年後の1996年に発表されました。なんとも気の長いシリーズですね。一冊一冊大切に作られたことがわかります。

◆『11ぴきのねことあほうどり』 作 馬場のぼる こぐま社

シリーズの中でも一番好きなのがこれ！

くいしんぼうの11ぴきのねこがコロッケ屋さんを開店。毎日せっせと作りますが、売れ残りが出ると自分たちで食べないといけなくて、さすがにあきてきた11ぴきのねこ。ああ、鳥の丸焼きが食べたいと言いつつ、なんと一羽のあほうどりがコロッケがほしいとやってきます。ねこたちの目がぴかっ！ねこたちは鳥の丸焼きを夢見て、あほうどりのきょうだいたちがいるところまで出かけて行ってコロッケを作ることにしました。ところが、次々やってくるあほうどりはだんだん大きくなって行って・・・。

とぼけた表情のあほうどりどりとねこたちのやり取りがおかしくて思わず笑ってしまいます。何度読んでもおもしろくて読み手も聞き手も大満足。



◆『11ぴきのねこふくろのなか』 作 馬場のぼる こぐま社

これもおすすめ！

とらねこたいしょうを先頭に遠足に出かけた11ぴきのねこ。とちゅうで「はなをとるな」という立札が目に入ります。どうしたかって？それはもちろん取りますよね。11ぴきのねこですから。

そのあとも「はしをわたるな」「きにのぼるな」とあってもわざと反対のことをするねこたち。ところが「ふくろにはいるな」を守らないでふくろに入ったおかげでウヒアハというかいぶつにつかまってしまいます。ウヒアハにこき使われるねこたち。なんとかして逃げようと作戦をねります。

やってはいけないと言われるとやりたくなるものですよ。自由気ままなねこたちの暮らしぶりに心を惹かれます。



◆『きつね森の山男』 作 馬場のぼる こぐま社

馬場のぼるさんの絵本第一作。平和とふろふき大根を愛する力持ちの山男が、ひよんなことからきつね森に住むことに。そしてきつねの毛皮をほしがる寒がりの殿さまときつねたちの争いに巻きこまれてしまいます。作者の馬場のぼるさんは、争いを解決してきつねたちも殿さまも幸せにした山男みたいな人だったんだろうなあ・・・。

寒い時期にぴったりの絵本。きつとふろふき大根が食べたくなります。

第 58 年度(2024 年 9 月~2025 年 8 月)

報告



定期総会

10月19日(土) 市民会館 6F 第9・10会議室

＜参加＞ 議決権のあるサークル 24 のうち、参加 22、欠席・委任 2 サークル **総参加人数 64 名**

第 58 年度定期総会が 10 月 19 日に開催されました。土曜開催で子どもの参加も 23 名！パパの参加も 3 名！活動 & 決算報告、活動計画 & 予算、役員体制が提案の通り可決され、2025 年例会企画も決定しました。総会恒例となった議事のあとのテーブルディスカッションでは、どのように子ども劇場の魅力を発信したらいいかを、乳幼児部会員のアイデアから、「長崎 LOVERS」にならって、「げきじょう LOVERS」を出し合おう、今度の 12 月例会に向けてどんな取り組みをするかを具体的に話してみよう！ということで、大人 2 チーム、子ども 2 チームに分かれて話しました。

短い時間でしたが、やっぱりみんなで話すとかが生まれます。これをまたスタートに、子どもと文化の活動をガンガン発信し、参加を広げていきたいと思います！“子どもたちに届けよう！0歳からの文化権を”



＜第 58 年度 目標＞

子どもたちの「言いたい、決めたい、やってみたい」を大切にしよう！

- ブロックのつながりを深め、生の舞台の魅力を語り合い、子ども劇場を身近な人に知らせていきましょう。
- 新入会 **30 名** を達成しましょう。
- 子ども主体の活動を支え、育ち合う場をともに作りましょう。
- 乳幼児活動を豊かにし、安心して子育てできる場と仲間を作りましょう。
- 第 30 回長崎県子ども舞台芸術祭典の取り組みに参加しましょう。

2025 例会企画 ＜総会決定作品＞

- * 6 月(乳)「ふわふわやまのわらべうた」(山の音楽舎)
- * 9 月(低・高)「イノシシと月」(劇団さんぽ)
- * 11 月(乳)「ぶっかりぼっかり」(くわえ・ぱぺとステージ)
(低)「ふくろうぼうや」(くわえ・ぱぺとステージ)
(高)「パームクーヘンとヒロシマ」(イツ・フォーリーズ)
- * 2 月(低・高)「コミックサイエンスショー」(エディー)
- * 5 月(低・高)「スイミー」(人形劇団ブーク)



＜編集後記＞

私はことごとく抽選にはずれたのだが、当選した友人のおかげで福山雅治こけら落としと、さだまさしこけら落とし、両方にいくことができた。さだまさしのコンサートでの巧妙なトーク、「ジャパネットさんは無料でとおっしゃったんです。でも僕は能登半島のために何かしたい。2千円でも3千円でもいいから料金を頂いて寄付をしたいとお願いして、5千円でどうでしょうか、となりましたが、申込者が5万人。どうして7千円にしなかったんだ！」会場は大爆笑w

幼児のアイドル「11ぴきのねこ」も定員を超え早々と満員御礼。続々と入る申し込みを断らなくてはならない苦しさを抱える事務局。さすがの人気だった。どうか子どもたちとの観劇を存分に楽しんでほしい♪ そしてまた子ども劇場で他の作品とも出会ってほしい！ (I.Y)

